

事務事業名		結核予防事業			会計	一般会計						
H27担当課等名		保健課		H27係等名	健康推進係、保健指導係		H26係等名	健康推進係、保健指導係				
基本計画上の位置づけ		政策	3	健やかに安心して暮らせるまちづくり			事業種別	経常	開始	S23	終了	
目的		対象(誰・何を)	65歳以上の高齢者			対象指標	指標名及び単位		26年度数値			
		意図(どういう状態にするか)	胸部レントゲンの機会がない市民に、レントゲン撮影を実施し胸部結核及び肺がんの有無を早期に発見する				65歳以上の市民人口(学生、会社勤めなどで検診をうけている者は除く。)		29500			
		向上させたい上位施策の成果指標	心身ともに健康であると感じている市民の割合									
目標	種別	指標名及び単位			26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)			
	成果指標	胸部レントゲン撮影実施人数			6000	5280	6000	6000				
	定性目標											
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・65歳以上の市民を対象に、19年度から感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づく、胸部レントゲン検診(間接撮影)を実施する事業、また、17年度から読影段階で肺がんも読影する併用検診として実施。</li> <li>・対象外としては、乳幼児・児童生徒、会社などでレントゲン検診を受けている者。</li> <li>・対象約30,000人 実施者(間接撮影)約6,000人</li> <li>* 複十字募金により、結核予防の広報啓発。</li> </ul>											
26年度事業内容	事業内容				名称			活動指標				
	1 胸部レントゲン撮影を、春・秋に、各地区を巡回して実施。 内容 胸部エックス線間接撮影[100mm]二重読影(肺がん併用検診)				1 受診者数 実施箇所数			1 5,280 人 164箇所				
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足						
事業費計(千円)①		7,361	8,003	7,385	8,373							
国庫支出金												
県支出金												
起債												
その他												
一般財源		7,361	8,003	7,385	8,373							
人件費計(千円)②		358		374								
正規職員所要時間		100		100								
臨時職員所要時間				15								
総事業費①+②		7,719	8,003	7,759	8,373							
事業内容・目標達成状況の振り返り	検診のお知らせをインフルエンザ予防接種の通知に記載するなど、受診勧奨に工夫を凝らしたが、かかりつけ医で受診するケースやヘリカルCT検査を選択することもあり、受診者は減少傾向にある。											
改革改善の考え方	①問題点	65～74歳は、肺ヘリカルCT検査と胸部レントゲン検診を選択して受診することができるため、ヘリカルCTを選択する人が増えると胸部レントゲン検診の受診者は減少する。										
	②改革提案	高齢者が身近な場所で受診できるよう検診会場を設定する。										